

広報

なんたん


Vol.93



【特集】市民と共に考える、南丹市の未来

～平成30年度 市政懇談会～

2019年
2・3月号



市民と共に考える、

南丹市の未来

昨年10月19日から11月25日にかけて、市内8会場で西村市長をはじめ市の幹部職員が、市民の皆さんのご意見を伺う「市政懇談会」を開催しました。

懇談会では、市長が南丹市における財政状況と新たなまちづくりの方針について説明を行った後、市民の皆さんからさまざまなご意見やご提案、ご要望をお聴きしました。

いただいたご意見などの中から、主な質疑応答の内容を抜粋して項目別に紹介します。なお、紙面の都合により、全ての質疑応答は紹介できませんが、その他は市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

■掲載場所 ホーム▽市政について▽市長のページ▽市政懇談会

<http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/index.html>

●実施会場と参加者数

開催日	会場	参加者数
10月19日(金)	京都丹波高原国定公園 ビジターセンター	33人
10月28日(日)	美山文化ホール	18人
10月30日(火)	日吉市民センター	24人
11月4日(日)	八木農村環境公園「氷室の郷」	17人
11月8日(木)	八木公民館	53人
11月11日(日)	日吉町生涯学習センター	16人
11月13日(火)	南丹市役所	34人
11月25日(日)	国際交流会館	22人
	合計	217人

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】市民と共に考える、南丹市の未来**
～平成30年度 市政懇談会～
- ⑩ 市役所の組織が変わります
- ⑫ 行政トピックス
 - ・平成31年南丹市消防団出初式
 - ・平成30年度南丹市表彰式
 - ・平成31年南丹市成人式 ほか
- ⑱ インフォメーション
- ⑲ 景観の小窓
- ⑳ 協働のキャンパス
- ㉒ 南丹市地域おこし協力隊レポート／福祉とわたし
- ㉓ 食は、ひとづくり、まちづくり
- ㉔ いきいき南丹
- ㉕ 人権の窓／ふ・れ・あ・い
- ㉖ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ㉗ ぶらりなんたん
- ㉘ みんなのひろば
 - ・南丹市スタンプラリー
 - 謎解きゲーム in なんたん PART3
 - ・南丹市人権フォーラム ほか
- ③〇 なんたんミュージアム／わが家のアイドル

今月の表紙

2月9日に開催された「学生のまち南丹 地域連携フォーラム」での1シーン。ワークショップでは、さまざまな意見を出し合う学生たちの姿がありました。



若者が定住できるまち

問

「ターン・ターン」という言葉は何年も聞いていますが、現実はまだ進んでいないように思う。八木町は立地条件も良く、京都へ30分、大阪へは1時間と通勤可能な地域だが、八木町への転入が非常に少ない。魅力がないからではないかと思う。学識者の声を聞くなどして、魅力があり、若い人が住み着くようなことを考えてもらいたい。企業誘致とあわせて考えていけばどうか。

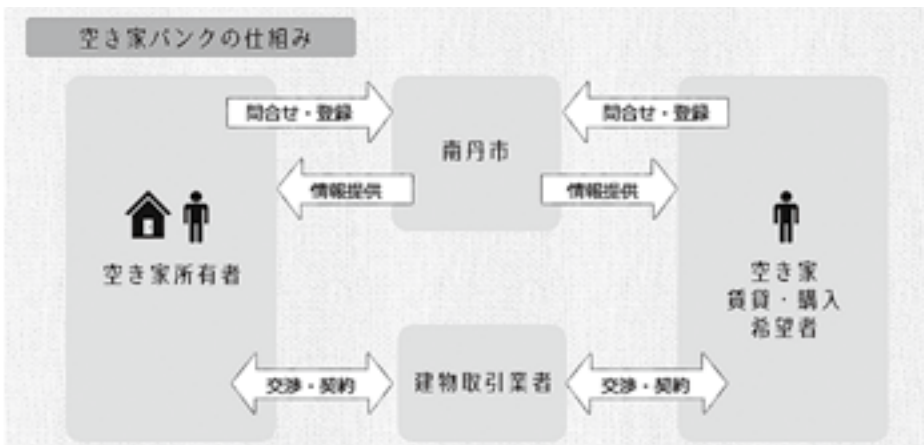
(氷室の郷)

答

定住促進に関して一番の問題は空き家がないことだと感じている。移住希望の話は聞くが物件が無く困っておられる。対策については担当部長から説明させる。

(企画政策部長) 移住を検討される方にとって、家を新しく建てたり買ったりするのは、ハードルが非常に高く、尻込みされることもあることから、「空き家バンク」という制度を設け、賃借していただける家を登録いただいで、斡旋・仲

介している。制度を周知できていないこともあるので地域の方や振興会などにもお願いして進めていただくので、お声掛けいただきました。



問

定住促進施策への市民意見を反映させるための部署の充実が必要ではないか。

(日吉町生涯学習センター)

答

定住促進の職員を配置し体制づくりをしているが、まだまだ直接的、積極的な定住活動へのサポートが不足しているというご意見なので、検討していきたい。

問

八木駅西土地地区画整理事業の整備後のマスタープランはどうなっているのか。駅、支所、学校、病院が近い状況で、どんなまちを作っていくのか。南丹市の入り口で一番いい場所なので、行政と地域が一緒になってまちづくりをしてほしい。

(八木公民館)



答

八木駅西土地区画整理事業については、平成14年頃、新しい南丹病院の病棟が八木駅の西側に建設されたことが起爆剤となり、周辺の整備をしていきたいという発想で取り組まれた。駅前広場や西口を設けながら、計画人口600人程の人口集積地にする方向である。病院や新しい駅舎が一体となった便利なまちづくりを地元の皆さんと一緒に進めていきたいと思っている。

問

南丹市の移住促進住宅整備事業があるが、保野田区と志和賀区を含む胡麻地域はその対象から外れている。胡麻地区にも限界集落や準限界集落があるが、なぜ対象外なのか。

(日吉市民センター)

答

市の移住促進住宅整備事業については、京都府の移住促進特別区域を前提に制度を設けている。移住促進特別区域は一定以上の人口減少率が要件とされているが、胡麻地区についてはイングラントヒルズがあり、地域全体では人口減少率は横ばいで推移している。人口が増えている一

部のエリアを除いて指定してもらえないか、京都府に働きかけたいと思っている。



活気ある産業の振興

問

北陸新幹線小浜—京都ルートが確定され、知井地区の地下を通るという話になっている。財政が厳しい中で、地元市町村の負担金についての話も出ているが、その点について反対する考えはないか。

(京都丹波高原国定公園V.C.)

答

北陸新幹線については、地質調査の段階でルートが決定している訳でない。具体的な計画が見えてこない中で、賛成

または反対と言えない状況である。負担金については、地元で受益がないと財政負担は生じないと聞いており、受益が無ければ市が建設費用の一部を負担することは無い。具体的なことはまだ何年も先と聞いており、その時になれば、しっかりと意見を述べていきたい。

問

胡麻地区で行われたアンケートで、一番要望が多かった。シカやイノシシの被害が本当に多いので、更なる対策をとっていただきたい。

(日吉市民センター)

答

猟友会の方には一生懸命対応していただいている。それと併せて、本年度はJAからの申請による駆除により、日吉で捕獲檻を10数基設置していただいている。成果があれば日吉全域、南丹市全域に広げられる可能性がある。

鳥獣撃退器購入補助金を設けたところ多くの要望があった。しかし慣れてしまうと対策は難しい。鳥獣被害対策の有効な手段はなし、シカやイノシシを捕獲するし

かない。新たな取り組みとしてJAのように被害団体からの申請による駆除もあるので、今後、状況を見ていきたい。



▲捕獲檻の設置作業の様子

問

美山町やるり溪に行かれる観光客が園部駅で降りたとき、バス停にはつきりした案内がない。以前から何かできないかと提言してきたが、看板などを設置して、観光客に案内できるようにすることをどうするか。

(国際交流会館)

答

園部駅バス停の表示については課題となっている。案内コーナーや南丹市全体の観光協会などによる案内所などがあれば良いのでは、という意見もいただいております。取り組みを進めたいと考えています。

暮らしの安心と安全

問

美山診療所存続の問題については、医師を確保するのに公設民営は非常に難しい。これまで随分財政的に支援いただいたが、やはり、公設民営を公営的なものにするなど、確実に医師が確保できるような対応策をとっていただきたい。尾寄先生の犠牲の下に十数年間維持できてきた美山診療所を、何とか存続できるように前向きな対応策をお願いしたい。(京都丹波高原国定公園V.C)

答

美山診療所は残していきたいと考えているが、入院の他、往診も行い、外来も診る、そして介護施設などに向かうというような、尾寄先生と同じ仕事を引き継ぐ医者探しは困難である。現状の業務を今後も引き継ぐのか、あるいは外来診療を中心にして診療所を残すことを最大の目標に医者を探すのか、あるいはもう少し経営的に安定できるような入所・入院施設などを拡大するのかなど、その3点くらいはかかっている。皆さんのご意見をいただきたい。

ながら、同じ体制でいけるのか見極めていきたい。



▲存続の方法が検討されている美山診療所

問

今年は災害が非常に多く、特に知井地区では河内谷の浄水場が被災した。今のところ住民努力によって節水対策などをしているが、具体的な対策が見えてこない。今後も長期化した場合、具体的にどのような対策を考えておられるのか。また、現在の対応についてもお聞きしたい。(京都丹波高原国定公園V.C)

答

以前、浄水場の施設を統合して給水能力を上げる計画もあったが、計画がまとまらなかった。その後、美山町自然文化村や北集落への来場者が増え、水の使用量も増えたことで浄水場の給水能力を上回る負荷がかかっている。そのため、文化村を切り離して、独自の水源を確保しよう

と、井戸を掘るなどの調査をしている。また、北集落の観光客のトイレについては、浄化したものでなく、中水で供給しようと考えている。(上下水道部長)中長期的な取り組みとしては、北集落内の公衆トイレを上水道から切り離すことを検討している。具体的には放水銃の水源の活用や近隣の谷川の水を活用するなどを検討している。また文化村では、新たな水源を求めながら、施設専用の水道を設置することで、既存の上水道の安定供給を図りたいと考えている。短期的な取り組みについては、土・日を除くほぼ毎日、浄水場の水質を囑託職員が確認しており、先日もある過池の砂を補充したところ。今後、ろ過水の一層の安定供給に努めたい。

問

7月豪雨の際、雨量が150mmを超え、府道19号線のたて壁付近で通行止めとなり、日吉町の広域農道を迂回することになった。たて壁付近で工事にも進められているが、異常な降雨が頻繁に発生しているので、何とか日常的に通れるようにしたい。(美山文化ホール)

答

たて壁の問題については以前からバイパス計画を要望している。また、現状としての安全対策についても求めている。現在も改修工事が進んでおり、できることは対応していただいている。さらに7月豪雨では、京都・大阪方面につながる幹線道路が通行止めとなり、亀岡市、南丹市、京丹波町が孤立することになった。国策として、国道9号のダブルルート化をお願いしている。



▲工事が進む府道19号園部平屋線

問

八木駅を利用しているが、階段も非常にきつく使いづらさを感じている。八木駅舎改築の進捗状況をお聞きしたい。(氷室の郷)

答

(土木建築部長)八木駅舎の改築については、平成28年にJR西日本と覚書の締結を行った。現在は詳細設計をしており、本年度は電気工事などの一部を実施する。平成31年度からは仮駅舎の工事および支障物件の移転となる。新駅舎の工事期間は2年間で、供用開始は平成33年4月の予定である。併せて旧駅舎の撤去と東西の自由通路の建設、エレベーター4基の設置も予定している。

問

原子力災害が起きたとき、美山町を通って福井県から避難されてくると思うが、美山の人はどのように避難するのか。また、安定ヨウ素剤がきちんと配られるのか。市が避難のシミュレーションをもっと緻密にしておくべきではないか。

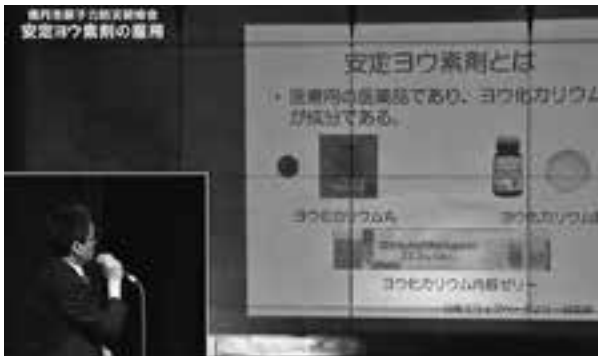
(日吉町生涯学習センター)

答

原子力防災に関する避難訓練は実施しており、一部の住民には広域避難の取り組みに参加いただいた。広域避難については、行動計画や避難のシミュレーション、訓練のスタイルはできているが、もしものとき、コントロールできないければ計画的な避難ができなくなる。単独の自治体

では広域的な避難計画も立てられないので、京都府に強く要望していく。

安定ヨウ素剤については、配布計画を京都府と相談しており、個人配布ではなく、分散備蓄することで許可をいただいた。具体的には集落単位や隣組単位を想定している。そうすることで飲むタイミングなどを専門家と協議してコントロールができる。個人配布すると分散備蓄方式を進めていきたい。



▲南丹市原子力防災研修会の様子(平成30年4月15日)

問

胡麻地域では、広野の拡幅工事や日吉平の道路改良、ICOCAの使用

について、何年も前から課題として要望しているが見通しがつかない。どうなっているのか。

(日吉町生涯学習センター)

答

ICOCAについては、国土交通省を通じて、JR西日本本社へ京丹波町と要望に行った。車載方式のICOCAシステムもあるようで、方法は別として利用できるようにしてほしいと要望している。働きかけ方も変えながら引き続き取り組みたい。

日吉平の道路については、整備が完了してからでなければ供用開始してはならないとの地元の皆さんのご意見があり、通行止めとなっている。地権者の方の体調が悪く直接お話しできていないが、新たな提案をし、ご理解いただいた上で早く供用開始できるようにしていきたい。私も直接お願いに行きたいと思っている。

(土木建築部長)広野の拡幅工事は、府道富田胡麻停車場線のことと思うが、地元協議会で十分協議いただき、地権者の方にもご尽力いただいで、境界立ち合いが全て終了したところである。今後は立ち合いに基づいた図面を作成し、境界確定をしていきたい。境界確

定後は詳細設計に入り、工事が始まることになる。

問

障がいや認知症などで判断力が低下した市民を支える成年後見制度に関して、平成28、29年度、市民後見人養成講座があった。登録された人材の活用方法について、市は未だに示していない。いつ示してもらえるのか。

また、支える市民、支えられる市民が活動できるよう、検討チームを作ってほしい。(市役所本庁)

答

南丹市社会福祉協議会と南丹市が一体となって取り組みを進めようと一定の方向付けを行っているところである。

(市民福祉部長)成年後見制度の利用の促進に関する法律が平成28年4月に可決され、市町村においても基本的な計画策定などの取り組みに努めるよう規定された。市では、市民後見人養成講座を開催するなどの取り組みを進めているが、家庭裁判所から選任を受けて活動いただく状況にまでは至っていないため、現在具体的な活動内容について検討している。例えば、南丹市社会福祉協議会の法人後見事業の支援員として活動して

いただくのも、一つの方法ではないかと調整しているところ。引き続きスピード感を持って取り組んでいきたい。

問

火葬場について、亀岡市や京丹波町と協力して建設するという計画を聞いた。しかし、遠くに建設するのなら反対だ。美山などからは非常に遠くなる。園部の今の場所を改修して欲しい。
(国際交流会館)

答

火葬場については、園部にある現在の場所の近くで整備する方針が出されているので、それに従って進めていきたい。



▲整備方針が出された船井郡衛生管理組合火葬場

地域の個性を生かして

問

美山はかやぶき、園部はるり溪、日吉はダムなどの名所がある。八木には木喰さんがあるが、観光客が少ないように思う。他にも良い場所があると思うので、それらを広めていけるようなアイデアを考えていきたい。
(氷室の郷)

答

八木にはまとまった観光資源がない中で、木喰仏については大きな取り組みをしていただいております、今後も継続していただきたい。旧八木城も中世の山城で貴重な史跡である。他にも何か考えていかなければならないと考えている。

問

12月補正予算で八木城跡の航空写真撮影として250万円が計上されていたが、大河ドラマの関係で行うものなのか。
(国際交流会館)

答

八木城は山城として大変価値があること、また八木駅周辺が土地区画整理事業などで土地に動きがあることから、一

帯を特殊なカメラで撮影し、埋蔵文化財などを空から調べるために予算化した。昨今、各地で土砂崩れなども発生しており、遺構などが崩れるまでに調査する必要があることを国や府に訴え、補助をいただいで航空写真を撮影し、全体像を明確にしていくための調査を行う。



▲八木城の遺構が残る城山

問

今年から、八木町の活性化のため八木音頭保存会が目もあつた。皆がもっと協力して立ち上がっていききたいと思う。八木町も昔は本当にぎやかなまちだった。活気のある八木町になつて欲しいと思っている。
(氷室の郷)

答

園部の内林では人口が増加し、厄神さんのお祭りにもぎやかになってきている。八木駅西土地区画整理事業で新たな住民に入っていたいただき、春日神社の春祭りや夏のイベント、盆踊りなどがもっとにぎやかになるような、そんなまちづくりを早くしていきたいと思っています。

問

吉富ノ庄では、旧吉富小学校について知恵を出しながら有効活用に取り組んでおり、今は4社がテナントとして利用され、春にはもう1社増える。公共施設の有効活用を考える上では、いかに民間に活用してもらうかであると思う。2年前に地区計画を策定したが、状況も変化し見直しが必要となってきた。利活用の足かせとなる地区計画を緩めてもらいたい。
(八木公民館)

答

当初の地区計画の想定を超える大規模な改造や設備投資をする場合、開発の手続きなど、法律をクリアしていく必要がある。具体的な内容についてはご相談いただきたい。旧吉富小学校については、土地の境界が定ま

つておらず、南丹市の所有になつていない部分が一部あることも今後開発などを進めていく上で課題である。

小学校跡地の利活用については、福祉施設への転用や地元法人による活用などについて、話を進めていることもある。

問

日吉町胡麻の水晶山には、ニオイコブシ(タムシバ)が生え、毎年春には山が真っ白になるくらい咲く。日本海側の多雪地帯に生える樹木で、この辺であれ程の純林があるのは珍しい。市の財産として何とか保護できないだろうか。観光地化はしたくないが、注目しても良い場所だと思ふ。

また、八木町氷所に福島県のタキザクラの苗木が植えられているが、タキザクラを中心とした桜並木の名所ができないだろうか。

(市役所本庁)

答

日吉町佐々江ではクロモジの林がある。クロモジは高級和菓子の爪楊枝やアロマなどに利用され、産業化されている。ニオイコブシもアロマとして癒しの効果もあると聞いている。

美山ではベニバナヤマシヤクヤクを地域を挙げて守っている取り組みもある。私もニオイコブシの自生地を見たいと思うし、地域資源や個性を生かしたまちづくりはどう生かせるか、さまざまな角度から検討していきたい。

タキザクラは福島復興のシンボルとしていただいた。並木に関しては場所の選定が難しいが、参考にさせていただきたい。

教育・文化と人権の尊重

問

小学校の統廃合で、知井地区では片道30kmを通学している児童がいる。昨年は凍結で危険な状況が何日もあった。通学の安全については、万全を期していたきたい。

(京都丹波高原国定公園V.C)

答

(教育長)先日も校長会を持ち、学校の交通安全について依頼したところ。学校と連携を密にし、万全を期したい。

問

小学校のスクールバスが芦生から旧知井小学校下

へ出ているが、そのバスに知井保育所の園児も乗せて欲しいとお願いが、スクールバスはダメとの回答だった。バスを増便させる訳でもないのに、市民目線での対応をお願いしたい。

また、スクールバスについても、冬期は道路が非常に危険な状況で、運転手さんにご苦労いただいている。その現状を現地に来て確認してほしい。(美山文化ホール)

答

(教育次長)スクールバスと市バスの関係については、市内の他の地域でも重複して走っている場所もある。スクールバスの在り方については、平成31年度には教育委員会と市長部局との間で、検討を進めたいと考えている。

今年の大雨の時も各地で通行止めになったが、教育長を含め、事務局職員が、現場を確認させていただいた。冬期も学校と連携しながら、子どもの安全確保を考えていきたい。

問

殿田中学校の駐車場の上にはツバメの巣がたくさんある。駐車場に駐車すれば糞だらけになる。以前にも声を出した

が未だ対応がない。また、保育所の溝の清掃についても対応されていない。小さなことであるが、子どもの教育環境を整えてほしい。

(日吉町生涯学習センター)

答

(教育長)学校環境は非常に重要である。学校と教育委員会が連携の上、対応していきたい。また、南丹市は地域と一体となった学校教育を目指しているため、地域の方々も学校と連携を取っていただき、つながりを深めていただければと思う。今回の内容については、持ち帰り学校とも連携させていただく。

問

まちづくりを進めていく中で、若い世代の意見を反映するためにも、中学生による議会なども企画していただきたい。

(美山文化ホール)

答

(教育長)子どもたちの意見を聞くということ、小学校の代表児童と中学校の代表生徒が市長と懇談する会を予定している。子どもたちの意見を市長に聞いていただいて、南丹市の教育や市政を向上させていくことが大切だと思っている。

市政運営の取り組み

問

7月豪雨や度重なる台風の襲来で多くの被害があった。その際、災害対策本部では職員が夜中詰められ、翌朝からは美山町内を巡回され、被害状況を確認されていた。被害箇所を説明すると、迅速に対応していただき、本当にありがたかった。また、支所の災害対策本部へ伺うと、美山出身の職員が揃っておられ安心感を覚えた。今回の経験を踏まえて、ぜひとも支所機能の充実をお願いしたい。

(美山文化ホール)

答

災害発生後、現地を回った際、市民の方が自力で復旧に取り組んでいた姿を見て大変ありがたかった。引き続き応援をお願いしたい。

支所の体制については、削減計画に基づき合併当初から全体で87人削減しているが、特に美山の遠隔地については、本庁から職員が駆け付けていると効率も悪いため、一定の職員は配置する必要があると考えている。また、通常の支所機能とは別に、災害時にそれ

ぞれの地域でどのような体制を作るのかについては、併せて検討している。さらに、災害対応ができる専門の部署と体制についても検討している。

問

まちづくりの基本的な計画となる総合振興計画やアクションプランなどは、市長のトップダウンや市役所内のボトムアップで作られていると思うが、具体的に進めていく中では、住民からのボトムアップによる知恵や意見、考えを集め、住民と一緒にやってまちづくりを取り組んで欲しい。

(日吉市民センター)

答

上から下ろすだけではなく、下から吸い上げて、それを行政と住民が一緒になって進めるスタイルは重要である。市政懇談会についても、集落に入り込んで開催できればいいと思っている。合併するまではそうであった。またご意見もいただきたい。

問

南丹市は子育て支援の制度は充実していると感じている。3人目の出産で祝金が増えた。3人目になったと聞いたが、財政

が厳しいと言っている市が、手厚すぎるのではないか。理由と経過を伺いたい。

(日吉町生涯学習センター)

答

子宝祝金については、さまざまなご意見をいただいている。3人目のお子さんについては、人口が増えるきっかけにもなる。財源が厳しい中でも、近隣市町のレベルに合わせることにした。これから事業効果を見たいと思っている。

問

市政懇談会が8会場、各1時間となった。日吉は日吉支所と日吉町生涯学習センターの2会場で、同じ地域でもあり。なぜこの会場を選んだのか。市政懇談会の持ち方が以前から後退したのではないか。

(日吉町生涯学習センター)

答

南丹市は以前から9月議会終了後から12月議会までの間に実施してきた。さまざまなイベントなどと重なることもあり、残念ながら設定回数が少なくなった。回数や時間などについての貴重なご意見をいただいたので、今後の持ち方を検討したい。

アンケートのご意見(抜粋)

- ・個別案件を言う機会がなく、もっと全体論を語る機会にしてほしい。
- ・座談会形式の方が意見が出やすい。子どもを持つ若い世代が参加できるような設定も必要である。
- ・たくさん意見が出ました。答弁されたことにつきまして、実行に向けて取り組んでください。
- ・市長さんが一人一人の意見に対して返答していただき良かったと思います。
- ・市の回答は抽象的で具体性が無い。「取り組む」という以上、どう取り組むのか市民に返して欲しい。
- ・参加者はどなたでも良いとのことですが、特に地域の自治会などの役員や各種団体長には出席を求められたら良いのではないかと。

お聞かせいただいたご意見は、これからの市政運営の参考にさせていただきます。

【問い合わせ先】

情報政策課

TEL(0771)68-0065

市役所の組織が変わります



社会経済状況が急速に変化する中、さまざまな行政課題に対応するため、限られた財源、限られた人員の中で、簡素で効率のかつ合理的な体制へと見直し、4月1日から新しい組織で行政サービスを実施します。

柱となる3つの基本方針

今回の組織再編は、次の3つを基本方針として実施します。

①重要課題を解決する施策実現型組織

南丹市が抱える危機管理対策などさまざまな重要課題を解決し、まちづくりの重点事業などを着実に推進し、柔軟かつ迅速に対応するための組織を目指します。

②収入を生み出す仕組みをつくる財政基盤強化型組織

収入の強化や経費の節減による財源を生み出せる仕組みをつくり出すため、職員の力が最大限に発揮できる組織を目指します。

③簡素で効率的な機能型組織

限られた人員で業務の効率性と専門機能の強化を図るため、本庁に集約して強化する機能と支所に置くべき機能を合理的に配置した組織を目指します。

組織改正の主なポイント

①市長公室の設置

市長のトップマネジメントを補佐し、総合的な政策調整を行うため、「市長公室」を設置します。

②危機管理監の設置

災害時における市の指揮命令系統を一元化し、より迅速な対応ができる体制を整えるため、総務部に「危機管理監」を設置します。

なお、危機管理監は、災害発生時に、地域の防災基盤である支所と本庁の状況に応じた迅速な対応ができる体制を整えるため、本庁と支所間の統括・調整を行う「支所担当部長」が兼務します。

③地域振興部の設置

子育て世代に選んでもらえるような地域のまちづくりを推進するために、地域が自らの良さを情報発信し自発的に地域振興を図ることができるよう支援する「地域振興部」を設置します。

④市民部と福祉保健部の設置

従来の市民福祉部を改編し、総合窓口の設置による市民サービスの向上と人権尊重のまちづくりを推進する「市民部」と、子育て・保健・医療・福祉の総合的な体制を整えるため、「福祉保健部」を設置します。

⑤商工課の設置

消費者のニーズを的確に捕捉し、「南丹」のブランドマーケティングによる3次産業の強化を図ることで、1次産業・2次産業の販路を拡大していくために、「商工課」を設置します。

⑥観光交流室の設置

観光資源の掘りおこしや新たな目玉となる観光コンテンツづくり、市内観光周遊ルートの整備など、南丹市の観光の一本化を図り、南丹市を通過点で終わらせない滞在型の観光を構築する「観光交流室」を設置します。

⑦支所機能について

支所の業務は、窓口サービスを重点的に確保し、本庁との連携強化と支所の効率的な総合支援を行うため、3支所に「支所総務課」を設置します。

また、各支所に支所業務の総括・調整・管理全般を担う「支所担当長」を設置します。

部署名	主要業務
市長公室	総合企画・調整、地域創生戦略、予算その他財政、秘書、広報広聴など
総務部 支所担当部長 (危機管理監)	市議会、庶務・文書・例規、統計、人事、行政改革、市税の賦課・徴収、財産・契約、消防防災、支所など
地域振興部	地域情報化、定住促進、交通対策、地域振興、市民協働など
市民部	戸籍・住民記録、国民健康保険、国民年金、環境対策、廃棄物処理、清掃対策、人権政策、女性政策など
福祉保健部 (福祉事務所)	民生・生活保護、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、児童福祉、子育て支援、保育所・幼稚園・すこやか学園、健康推進、医療など
農林商工部	農業、林業、水産業、商業・工業、労働政策、企業誘致、観光など
土木建築部	土木、道路・橋りょう・河川、都市計画、区画整理、公営住宅、住宅政策、営繕など
上下水道部	上水道、下水道
教育委員会	人事、施設管理、就学、学習指導、社会教育、社会体育、文化財保護、図書館など

南丹市組織一覽

【改正前】

【改正後】

部等	課等	係
総務部	総務課	行政係・防災安全係・人事給与係
	財務課	財政係・財産管理係
	税務課	市民税係・資産税係・収納係
	監理課	監理係
	行政改革室	
	庁舎建設室	
企画政策部	定住・企画戦略課	企画係・定住促進係
	地域振興課	協働推進係・交通対策係
	情報政策課	秘書広報係・情報推進係
市民福祉部	市民環境課	戸籍窓口係・環境衛生係
	保健医療課	保険年金係・健康増進係・母子保健係
	人権政策課	人権政策係
(福祉事務所)	社会福祉課	福祉総務係・生活福祉係・障害者福祉係・発達支援係
	高齢福祉課	高齢者福祉係・介護保険係
	子育て支援課	子育て支援係・児童育成係
農林商工部	農政課	農政係・農業振興係
	農林整備課	農地係・林業振興係
	商工観光課	商工観光係
土木建築部	都市計画課	都市整備係・計画係・土地区画整理係
	道路河川課	庶務係・管理係・道路整備係・河川整備係
	住宅課	住宅係・営繕係
上下水道部	上水道課	庶務係・管理係
	下水道課	庶務係・建設係
八木支所	地域推進課	総務管理係・地域推進係
	市民生活課	市民生活係
日吉支所	地域推進課	総務管理係・地域推進係
	市民生活課	市民生活係
美山支所	地域推進課	総務管理係・地域推進係
	市民生活課	市民生活係
会計管理者	出納課	
議会議務局		
監査委員事務局		
選挙管理委員会事務局		
公平委員会事務局		
固定資産評価審査委員会事務局		
農業委員会事務局		
教育委員会	教育総務課	総務係・施設係
	学校教育課	学務係・指導係
	社会教育課	社会教育係・社会体育係・文化財保護係・図書館係

部等	課等	係
市長公室	企画財政課	企画係・財政係
	秘書広報課	秘書係・広報係
総務部	総務課	行政係・資産活用係
	人事課	人事給与係・行政改革係
	税務課	市民税係・資産税係・収納係
	監理課	監理係
	支所担当部長(危機管理監)	危機管理対策室
支所担当部長(危機管理監)	八木支所総務課	総合支援係・市民窓口係
	日吉支所総務課	総合支援係・市民窓口係
	美山支所総務課	総合支援係・市民窓口係・事業推進係
地域振興部	情報課	ICT推進係・事務処理係
	地域振興課	定住促進係・交通対策係・地域振興係
	市民協働室	
市民部	市民環境課	市民係・総合窓口係・保険年金係・環境衛生係
	人権政策課	人権政策係
福祉保健部(福祉事務所)	福祉相談課	福祉総務係・福祉総合窓口係
	社会福祉課	生活福祉係・障害者福祉係
	高齢福祉課	高齢者福祉係・介護保険係
	子育て支援課	子育て支援係・児童育成係
	保健医療課	健幸係
農林商工部	農業推進課	農政係・農地整備係
	農山村振興課	鳥獣対策係・林業振興係
	商工課	商工振興係・企業誘致係
観光交流室		
	観光交流室	
	観光交流室	
土木建築部	都市計画課	都市整備係・計画係・土地区画整理係
	道路河川課	庶務係・管理係・整備係
	営繕課	公共施設整備係・住宅係
上下水道部	上水道課	庶務係・管理係
	下水道課	庶務係・建設係
会計管理者	出納課	
議会議務局		
監査委員事務局		
選挙管理委員会事務局		
公平委員会事務局		
固定資産評価審査委員会事務局		
農業委員会事務局		
教育委員会	教育総務課	総務係
	学校教育課	学務係・指導係
	社会教育課	生涯教育係・社会体育係・文化財保護係・図書館係

—平成31年南丹市消防団出初式—



消防団員としての自覚と誇り、
責任を持って活動する

南丹市消防団出初式

1月13日、スプリングスひよし体育館で、南丹市消防団351人と、京都中部広域消防組合園部消防署46人が参加し、南丹市消防団出初式を行いました。

式では、西村市長が「平成30年7月豪雨では、市内でも多数の被害があり、団員の皆さんにも懸命な活動をいただいた。今年は災害や火災のない年を願うとともに、市民生活の安心安全の確保のため、防災対策に万全を尽くすよう努力したい」と式辞を述べました。続いて中島団長が「近年は自然災害の多様化や大規模火災が発生しており、日頃の予防活動などが大変重要になる。住民の安心・安全を守るため、地域や関係機関との連携を強め、消防の使命を達成していきたい」と消防団員に呼び掛けました。

また、団員の多年にわたる勤続や功績をたたえ、京都府消防協会長表彰、南丹市長表彰、南丹市消防団長表彰などを授与しました。併せて、京都府知事表彰、消防庁長官表彰、日本消防協会会長表彰、丹波地方消防連絡協議会長表彰の受章者を披露しました。

被表彰者は次のとおりです。

(敬称略)

■京都府消防協会会長表彰

功績章

【美山】副団長▽橋本乾一

【園部】分団長▽片山卓美

勲功章

【美山】分団長▽近澤幸次

【八木】分団長▽川勝広行

【日吉】分団長▽湯浅啓史

精進章

【園部】副分団長▽中嶋了士／部長▽和田秀人

【八木】分団長▽松本清臣／副分団長▽三輪隆之

【日吉】副分団長▽井尻智道・杉田秀一

【美山】分団長▽林秀昭／副分団長▽戸本宏樹

【八木】副分団長▽石橋康彦・今福淳・村上裕紀／部長▽松本誓司・中川善之

【園部】部長▽上原徹也・奥村茂樹・下西哲也／班長▽西岡大介／団員▽野々口大介

【日吉】副分団長▽近藤慎一郎／部長▽和田貴士・橋本達矢・吉田晃幸・齋藤健

【美山】部長▽大下裕宣・菅井克章・中島友弘・木村匡良・梅津彰男

■南丹市長表彰

市長章

【女性分団】副分団長▽清水範子／班長▽中嶋由恵／団員▽岩間寿美恵・森本知恵子

【園部】分団長▽木村哲／副分団長▽齊藤武志・山岸三洋／部長▽野々口元喜／団員▽野中元樹・本村修・塩田隆宏・小寺廣介・五島雄一

【八木】部長▽津原慎・松本勇佑・麻田和政／班長▽村上真吾・西田正規・廣瀬晃三／団員▽齊藤博之・池田寛和・岩谷哲也

【日吉】部長▽上村昌也／班長▽竹村健一／団員▽吉見孝夫・佐々木紀彰・農本光一・中村高士

【美山】部長▽山名友紀／班長▽視測敦司・諫本宗幸／団員▽藤原誉・平川智久

■南丹市消防団長表彰

團長章

【日吉】団員▽進裕一・坪井裕輝・久保田瑞人・廣瀬拓生・横江美喜夫・宇野竜也・塩貝晃史・細見豊・塩貝智哉

【園部】部長▽松井一也・竹内誠・堀林明真／班長▽泉康孝・西田英人・上田浩平／団員▽

小野田裕之・中野学・松井一弘・樋口浩之・片山迪夫・人羅恭平・佐藤敏泰・西村悠佑・野々口優

【八木】部長▽小西雄也・齋藤裕典・川勝裕介・森口淳・住田庄平▽班長▽井上公利・都総司・廣瀬達也▽団員▽寺田利裕・川勝誠・伊藤伸・松本宏樹・青山博章・明田英久・小森太智

【美山】部長▽高橋信行▽班長▽野瀬信二・川勝一平・水口博文▽団員▽長野陽介・菅井彰人・加藤大貴・吉村仁士・坂井祥吾

【女性分団】班長▽小林範子
勤続章(20年)

【美山】副分団長▽田中久則・加藤孝俊▽部長▽藤田敏雄・梅津彰男▽団員▽平井智彦・平川智久・山本勝之・仲田只則・池邊紳一・大棚正樹・坂本修史

【園部】部長▽奥村卓己・阪田和彦▽班長▽矢野修一・西田賢広・中尾克則▽団員▽森博史・上田善郎・川勝尚武・橋本貴弘・谷口誠治・原田浩雄

【八木】部長▽松本勇佑▽班長▽雨宮有治▽団員▽平井幸弘・齋藤利憲・齋藤昌和・宅間康弘・大鳥羽裕之・八木道徳・橋本光晴

【日吉】分団長▽坂本暁人・上段順弘▽副分団長▽杉田秀一▽部長▽船越耕司・松原亮二▽班長▽井尻健司・内藤直樹▽団員▽湯浅唯史・湯浅亘・谷口正登・宇野崇規・清水篤・上原稔博・吉田史朗・小林正俊

勤続章(10年)

【園部】部長▽山下幸裕・内藤大二郎▽団員▽柴田洋希・野中友秀・小谷智則・村上功一・野中元樹・森哲晃・野口好行・杉森亮介・野々口裕晃・五島雄一・中井直人・加舎絃一

【八木】部長▽三輪一広・中川善之・廣瀬智明・徳見崇▽班長▽吉田悦志・中川恭輔▽団員▽中面智泰・小西健太郎・浅田裕毅・岡本悠三・谷秀平・青山博章・樋口健太郎・羽野文雄・綿井庸祐

【日吉】部長▽和田貴士▽班長▽湯浅正人▽団員▽横江美喜夫

■京都府知事表彰(平成31年2月)
永年勤続功労章

【園部】副団長▽藤掛久士
【八木】分団長▽面田武志
【日吉】分団長▽吉田忍
【美山】副団長▽福本修三

精勵章

【園部】副分団長▽内藤雅史・下間康広▽班長▽松本貞治▽団員▽中西美德

【八木】副分団長▽白井出▽部長▽松本光彦・松本勇佑・小槻達也

【日吉】部長▽井上雅晶・柝下康弘・出野浩幸・松原亮二
【美山】副分団長▽森省吾・加藤孝俊・登立修史・田中久則

■消防庁長官表彰(平成31年2月)
永年勤続功労章

【八木】副団長▽黒田英敏
【日吉】副団長▽山本学

■日本消防協会長表彰
(平成31年2月)

功績章
【園部】副団長▽野中大樹
精績章
【園部】分団長▽塚脇健

【八木】分団長▽松崎正樹
【日吉】分団長▽坂本暁人
【美山】分団長▽平川博昭

勤続章(30年)

【園部】団員▽堀江長・西田誠・谷利信悟・森伸広
【八木】副団長▽塩貝功▽団員▽山名匠・松本喜孝・大橋哲哉
【日吉】班長▽空山美智男▽団員

▽中川高志・湯浅浩史・近藤昭久・近藤秀樹・今井昌仙・村山秀和

【美山】分団長▽勝山幸男▽団員▽上林眞実・原田伸二・下野純一

■丹波地方消防連絡協議会会長表彰
(平成31年1月)

功勞表彰
【園部】部長▽山下幸裕・高屋正則・大西一生▽団員▽林誠亮・松下孝

【八木】副分団長▽田村貢▽部長▽浅田芳弘・松本知久▽団員▽大植仁・綿井庸祐

【日吉】部長▽前田辰彦・谷口卓也▽班長▽山浦淳・山本伸二・猪奥慶
【美山】部長▽早崎勲・寺井正和・今井範和・小中喜之▽班長▽河村憲二



多年にわたる勤続や功績をたたえて表彰

平成30年度南丹市表彰式

1月29日、南丹市国際交流会館で、それぞれの分野で多年にわたる活躍された方、また、南丹市に対する深い理解のもと、多額の私財を南丹市に寄付いただいた方をたたえ、平成30年度南丹市表彰式を開催しました。

表彰式では、出席された自治功労者8人、功績者7人、善行者1人に表彰盾を授与し、1団体に感謝状を贈呈しました。



自治功労者表彰（9人）

佐々木稔納さん

南丹市長として12年間在職され、市政の円滑な運営と地方自治の発展に貢献

松田清孝さん

南丹市副市長として8年間在職され、市政の円滑な運営と地方自治の発展に貢献

森榮一さん

南丹市教育委員会教育長として8年4月間在職され、円滑な教育行政の推進と充実に貢献

井尻治さん

旧日吉町議会議員を10年8月間、南丹市議会議員を12年間、通算22年8月間在職され、2年間は市議会議長として円滑な議会運営と議会機能の充実に貢献

受賞者の皆様

橋本尊文さん

南丹市議会議員として12年間在職され、2年間は市議会議長として円滑な議会運営と議会機能の充実に貢献

森為次さん

南丹市議会議員として12年間在職され、地方自治の発展に貢献

仲絹枝さん

南丹市議会議員として12年間在職され、地方自治の発展に貢献

水口晋さん

旧八木町選挙管理委員会委員を4年9月間、南丹市選挙管理委員会委員を12年3月間、通算17年間在職され、8年間は市選挙管理委員会委員長として有権者の政治意識の向上や明るい選挙の推進に貢献

東伊三生さん

旧美山町農業委員会委員として4年6月間、南丹市農業委員会委員として12年間在職され、農業委員会の円滑な運営活動に貢献

功績者表彰（9人）

武田修さん

犯罪や非行の予防ならびに罪を犯した人たちの立ち直りの援助など、保護司として多年にわたり更生保護活動の推進に貢献

廣瀬稔さん

犯罪や非行の予防ならびに罪を犯した人たちの立ち直りの援助など、保護司として多年にわたり更生保護活動の推進に貢献

松本恵美子さん

犯罪や非行の予防ならびに罪を犯した人たちの立ち直りの援助など、保護司として多年にわたり更生保護活動の推進に貢献

山口伸子さん

市民の人権擁護ならびに人権啓発活動の普及など、人権擁護委員として多年にわたり人権擁護委員活動の充実に貢献

養内千づるさん

市民の人権擁護ならびに人権啓発活動の普及など、人権擁護委員として多年にわたり人権擁護委員活動の充実に貢献

桂花子さん

旧園部町身体障害者福祉会ならびに南丹市身体障害者福祉会および園部支部の役員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

松本千里さん

社会福祉法人「アイリス福祉会」の役員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

村山巖さん

旧日吉町身体障害者福祉会の役員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

上田範夫さん

障害者支援施設「美山育成苑」の職員として、多年にわたり社会福祉の向上に貢献

善行者表彰（2人）

野口幸雄さん

南丹市に対し、多額の物件を寄付

齊藤昌久さん

南丹市に対し、多額の物件を寄付

感謝状贈呈（3人）

吉田浩明さん

南丹市に対し、多額の私財を寄付

田村園子さん

南丹市に対し、多額の私財を寄付

一般社団法人南丹市建設業協会

（代表）会長 小寺学さん

平成30年7月豪雨や度重なる台風による自然災害において、孤立集落の解消をはじめ南丹市道路網の早期復旧に貢献



▲出席者の皆さんと記念撮影

「国際化社会に向け、日本の代表

として意識できる人になりたい」

―決意を新たに278人が出席・平成31年南丹市成人式―

1月13日、国際交流会館で二十歳の門出を祝う成人式を行いスーツや振り袖、羽織はかま姿の新成人が出席し、大人としての決意を新たにしました。また、来賓のほか、小・中学校時代の恩師も式典に出席され、新成人の前途を祝福しました。



式辞を述べる西村市長



(左から)市長へ誓いの言葉を贈る藤林ゴウさん、藤林シュウさん



記念品を受け取る榊さやかさん



(左から)司会を務める浅田真友子さん、中田花菜さん

今年の成人式は、平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれの市内在住者396人と、市内小・中学校の卒業生などの希望者を対象に行いました。

西村市長は、「これからの人生の中で、困難な局面に出会うとき、人とのつながりは大きな支えとなります。『自分が必要とされている』と自信を持ち、つながりをより大きく育み、喜び多き人生を歩まれることを望んでいます。未来に向かって歩もうとする皆さんの無限の可能性に大いに期待します」と式辞を述べ、新成人を祝福しました。

また、成人式実行委員の藤林ゴウさん、藤林シュウさんが新成人を代表して、「南丹市の春夏秋冬の風景、人のぬくもり、すべてが心の栄養となり私たちを育ててくれました。笑顔で成人式を迎えることができたのは、地域の方々や先生、いつも支えてくれた家族のおかげです」と感謝を述べるとともに、「今年、平成という時代が幕を閉じ、新しい時代になります。2020年には東京オリンピック・パラリンピック、25年には、日本万国博覧会が大阪で開催されます。世界の人々が日本に、そして京都を訪れることでしょう。国

際化社会に向け、一人一人が日本の代表だと意識できる大人になりたいと思います」と誓いの言葉を述べました。

式典と記念写真撮影に続いて行われた懇談会では、旧友や恩師との久しぶりの再会を喜ぶとともに、近況や思い出話に花を咲かせていました。

成人式のワンショット



②



①



④



③

- ① 会場の様子
- ② 記念写真撮影
- ③ なんとんテレビの取材に応える新成人
- ④ タイムカプセルを開け、旧友や恩師と談笑

公共施設の再配置に向けて

—公有財産の利活用及び
処分等に関する検討委員会—

12月17日および1月21日、公有財産の利活用及び処分等に関する検討委員会で、公共施設再配置計画の骨子案について協議しました。市民の皆さんが不便にならないように公共サービスを維持した上で、公共施設の延べ床面積を削減していくことがこの計画の大きなテーマです。昨年、市内12会場で開催した市民ワークショップでの意見を参考に、委員からは活発な意見交換が行われました。
※内容の詳細は本市ホームページに掲載しています。



▲活発な意見交換を行う委員ら



▲アイデアが飛び交うグループワークの様子

通学の二部である路線バスより良い公共交通を考える

—公共交通教育学習—

12月18日、公共交通の課題や理解を深めることを目的に、農芸高校3年生を対象に公共交通教育学習を実施しました。京都大学大学院准教授や市職員が講師となり、利用者の減少によるバス路線存続の問題や維持にかかる費用などを説明しました。

日頃の通学で路線バスを利用する生徒も多い中、グループワークを実施。利用者の増加について検討し、さまざまなアイデアを出し合いました。

小中学生の目線で政策提言

—市長と語ろう
私たちのまちづくり—

12月20日、子どもたちの市政に対する興味関心やまちづくりの当事者意識を高めることを目的に、市議会議場を使って開催しました。会には、市内の7小学校と4中学校の11人が参加。児童や生徒らは質問席から西村市長や木村教育長に向けて、福祉や観光、地域振興など市の活性化に向けた小学生ならではのアイデアを発表しました。

発表の後、西村市長は「南丹市を良いまちにしたいという強い思いが伝わってきた」と講評しました。



▲アイデアを発表する児童



▲意見交流を行う委員ら

市教育の充実に向けて交流

—南丹市教育委員—

—社会教育委員懇談会—

1月30日、教育行政の決定機関である教育委員と文化やスポーツ、生涯学習などの社会教育事業を調査、提言する社会教育委員との懇談会が開催されました。

今回が初めての会議となり、両委員からは活動報告などが行われました。また、「互いの活動について理解が深まった」「学校教育と社会教育のさらなる連携を進めたい」などの意見が交わされました。両委員は今後も継続して交流を行う予定です。

農林水産大臣が農家を視察 おいしい国産野菜を世界に

—吉川農林水産大臣視察—

1月24日、吉川貴盛よしかわ たかもり農林水産大臣が南丹市八木町の農場と牧場へ視察に訪れました。

「京野菜の生産現場を訪れたい」との吉川大臣の希望により実現したもので、ビニールハウスで出荷作業中の農家の声を聞かれたり、京みず菜のサラダを試食。吉川大臣は「生産者の力強さを感じた。政府が目指す農林水産物・食品輸出額1兆円達成を実現したい」と話されていきました。



▲京みず菜を手にする吉川大臣

インフォメーション



園部藩立藩400年を
記念して

平成31年は、園部藩が元和5（1619）年に成立してから400年を迎える節目の年となります。現在、さまざまな取り組みが検討されています。

今後の動きに要チェック！



市公式Facebook
もよろしくね！



□特別パネル展開催中

現在、市内の道の駅で園部藩を紹介するパネルや書籍資料が展示されています。ぜひ、お立ち寄りください。



▶展示の様子（スプリングスびよし）

場 所	期 間
京都新光悦村	展示中 ～3月15日(金)
美山ふれあい広場	3月16日(土)～4月 5日(金)

南丹の景観ちょっと情報



【日吉町天若 天若湖、世木ダム、新庄発電所】

スプリングス日吉から府道50号線を神吉方面に向かい10分程で左に世木ダムが見えてきます。世木ダムは昭和26年12月に作られました。現在大部分は水没しゲートは取り外されていますが、現役の発電用ダムとして稼働しています。取水された水は水路トンネルで下流にある八木の新庄発電所に送られ発電されており、故障も少ないようで現在も稼働しています。世木ダムの景観に加え、今も頑張っている新庄発電所も訪れてみてください。

また、天若湖では世木ダムの他、右岸と左岸をつなげる「夢の懸け橋」や、湖面に沈む夕日などの美しい景観を見ることができます。

景観の小窓



第27景



前方から望む世木ダム



新庄発電所



世木ダム(後方)と天若湖



夕暮れの天若湖

問い合わせ先
地域振興課
Tel(0771)68-0019
美山支所地域推進課
Tel(0771)68-0040

美山町地域で、建築物の建築や工作物の建設、土地の形質変更、土石等の堆積を行う場合には、着工する30日前までに市への届け出が必要です。届出対象行為は、市ホームページなどに掲載していますので、ご確認ください。

また、行おうとする行為が届け出の対象になるかなど、ご不明な点や景観計画に関することは、地域振興課または美山支所地域推進課までご相談ください。

市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

届出対象行為は、**工事着工の30日前までに届け出を!**



▲春にみられる口人区の鯉のぼり



▲神吉風の市

各地域で活性のためにさまざまな取り組みが行われています。

※**限界集落・準限界集落**
 限界集落は、65歳以上の高齢者の割合が50%を超えるようになり、冠婚葬祭や農作業における互助など、社会的な共同作業が困難になった集落。
 準限界集落は、55歳以上が50%を超える集落。
 (H30年度のもの)
 限界集落…65歳以上
 準限界集落…55歳以上

南丹市では平成23年度から集落支援員を配置し、集落での地域活性化の取り組みを支援しています。
 各集落では、市や京都府の補助事業を活用し、地元 of 歴史的資源を活用した観光事業、田畑を利用した景観保全事業、地元野菜や伝統食品の販売事業、ハイキングや農業体験による都市住民との交流事業など、地域を元気にする取り組みが行われています。
 今回は、集落で行われている地域活性化の取り組みについて、その一部を紹介いたします。

集落の取り組みを支援

みんなで描こう

協働のキャンバス 49

園部町での取り組み

園部町は46集落のうち、30集落が限界または準限界集落となっています。
 天引区では、林業の衰退で行われなくなった炭焼きの復活に取り組みられたほか、水辺の生物調査や月2回の野菜市も行われています。昨年6月の「ほたるコンサート」には、800人の参加者がありました。区の会議では「自由に発言する」「人の発言を否定しない」「前例にとらわれない」「すぐには実現できなくても夢を語る」の4原則に則った話し合いを大切にされています。



▲天引ほたるコンサート

口人区では「くちうどの郷野菜市」が月2回行われています。屋台営業の許可も取得され、来場者と区民の貴重な交流の場となっています。また毎年4月下旬には多数の鯉のぼりが揚げられ、壮観な光景となっています。

千妻区では、裏山に子供広場が整備されたほか、集落総出で苗を植え、春先には美しい「菜の花ロード」が出現します。

また、竹井区では今年度、勉強会や視察の結果をもとに、来年度以降の活動について計画を練られているなど、新たな活動も始まっています。

八木町での取り組み

八木町は45集落のうち、27集落が限界または準限界集落となっています。

神吉地域では、平成18年から地元住民の交流を目的に手づくり市「風の市」に取り組みされています。8月を除く4月から12月の毎月

第2土曜日(午前10時～午後2時)に、神吉自治振興会館前広場を会場に特産品の販売や地元人形劇サークルによる手遊び、工作、バイオリンなどのコンサート、家庭の不用品を出し合い必要な方を持つて帰っていただく「もったいない市」など、趣向を凝らしたイベントが行われています。当初は数店だったお店も、地域外からの出店を含め20店程に増え、毎回100人前後の参加者が訪れる取り組みとなっています。今後も「人と人

を結び付ける場所」を提供し、無理せず楽しみながらみんなが「今日も一日楽しかったね」と言える「風の市」を目指されています。

ほかの集落でも、地域行事の継承や河川の環境整備、野菜直売所の運営、夏祭りやサロン活動などがふるさとを良くしようという取り組みが行われています。



▲風の市でのバイオリンコンサート

日吉町での取り組み

日吉町は37集落のうち、29集落が限界または準限界集落となっています。

世木地域振興会では枝豆の販路開拓や「集落の教科書」の作成、教育民泊の推進に取り組み、毎年実施している婚活事業では、多くの縁が結ばれています。

中世木区では「棚田ひな祭り」や「せつぶん草祭り」が新しく生まれ、イターンも3組あり、目標とされていた「子どもの声が聞こえる里」となりました。

殿田地域ではお能の一門・梅若家ゆかりの地として、梅若屋敷の整備や小学校でのお能教室開催など、伝統文化の継承に取り組みられています。



▲上保野田区のエゴマ栽培ほ場

五ヶ荘地域では、「住みよいむらづくり協議会」が立命館大学と連携し、野菜市カフェやオーブンデイなど、旧小学校施設を利用した催しを開催されており、地域に定着しつつあります。

ほかに、新シ区では未耕作地でのニンニク栽培、上胡麻区では会議所法面への芝桜の植栽、上保野田区では健康に良いエゴマの栽培、東胡麻区では中世に建てられた「野化館跡」の勉強会など、さまざまな取り組みが行われています。

美山町での取り組み

美山町は57集落のうち、52集落が限界または準限界集落となっています。

下区では、「長寿を目指す里」をテーマに、伝統食である「鯖のなれ寿司・へしこ」の製造販売、戦国時代の下村城跡の整備と観光資源の発信、伝統行事「不動尊の滝まつり」の継承、さらには炭焼き窯の復活など、多岐にわたって取り組まれています。取り組みを通して、区民同士が絆を深めることで、健康で生きがいのある、長寿の里づくりが進んでいます。また、豊郷地区では桑畑の再生

を通して京都市内の子どもたちと交流を深める「京都桑田村」の取り組み、栃原区では栃餅づくりを通じた元気な里づくり、音海区では長老ヶ岳登山道新設の取り組み、檜原区では日本最古の石田家住宅の整備と誘客活動が行われ、多くの集落で誇りや自慢、笑顔が広がっています。



▲鯖のへしこをつくる下区の皆さん

「集落活性化の取り組み」

活動報告会

今回ご紹介した以外にも、地域を元気にしようとして、各地域でさまざまな取り組みが行われています。実際に活性化に取り組んでいる地域(団体)による活動報告会を行いますので、ぜひご参加ください。

日時…平成31年3月16日(土)

午後1時30分～

場所…日吉町生涯学習センター
内容…地域(団体)による事例紹介

よん「コマ」なんたん協力隊



イラスト・村上 隊員

◎『南丹辞典』の単語を紹介します！
あいたーん【イターン】

出身地とは違う地方に移住すること。
南丹市では、「Uターンイターンなんたん」をキャッチコピーに、定住促進施策に取り組んでいる。
南丹市地域おこし協力隊フェイスブックページ、メールアドレス(nantan.doors@gmail.com)まで皆さんの知っている言葉をお寄せください。

◎協力隊ニュース
協力隊四期の根井真由美隊員が南丹市の魅力を発信するべくブログをはじめました。

田舎ぐらしを楽しむ日々の記録「田舎ぐらし百科」、南丹市のお店などを紹介する「南丹ジャーナル」の二つ。定住促進サイト「なんくら」の地域おこし協力隊プロジェクトページ、根井隊員欄からアクセスできます。問い合わせ先：定住・企画戦略課 (0771-68-00003)

福祉とわたし³³ <<<for our happiness>>>

福祉は、私たち一人ひとりが幸せに暮らすためにあります。

ご存じですか？ヘルプマーク

ヘルプマークとは？

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。そうした方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。

ヘルプマークを身に付けている方を見かけたら…

電車・バスの中で席をお譲りください(外見では健康に見えても、疲れやすかったり、同じ姿勢を保つことが困難な方がいます)。駅や商業施設で困られているようであれば、声を掛けるなど思いやりのある行動をお願いします。災害時には、安全に避難するための支援をお願いします。



ヘルプマーク
(現物は赤地白抜きデザイン 8.5cm×5.5cm)

対象となる方

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方

配布する場所

京都府 南丹保健所福祉室
南丹市役所 社会福祉課
保健医療課

※無料で配布します。
各支所市民生活課

問い合わせ先

◎ヘルプマーク全般に関すること

◎京都府 障害者支援課

Tel(075)414-4598

◎ヘルプマーク受取に関すること

◎京都府 南丹保健所福祉室

Tel(0771)62-0361

◎南丹市役所 社会福祉課

Tel(0771)68-0007

食は、 ゆづり、ら、まぢり

懐かしきふるさと

南丹市には、京阪神エリアからたくさんのお客が訪れますが、美山町の北集落は、実際に生活しながらかやぶき屋根の民家を守っており、今でも大半の家がかやぶき屋根で残っていることから、「かやぶきの里」の名称で親しまれ、特に春から秋にかけては多くの方が観光に訪れています。

冬の「かやぶきの里」は雪が多く、これまで観光客もまばらでしたが、たくさんの方の雪を地域の特長と捉え、年間で一番雪の降る時期の夜に、雪で作った小さなカマクラに火を灯すライトアップイベント「雪灯廊」を開始されました。

京都市内から日帰りでき、雪が楽しめるイベントは珍しく「雪灯廊」に訪れる観光客は年々増加。ここ数年は台湾など、雪がほとんど降らない国からの方を多く見かけるようになりました。

訪れた皆さんは、ライトアップ



▲台湾を中心とした海外からの観光客



▲集落を明かりで彩るイベント「雪灯廊」



されたかやぶき民家などの美しい夜景を楽しむだけでなく、自由な発想でオリジナルの雪の灯籠をつくり、冬の美山を満喫しておられます。

地元食材を使った 温かなおもてなし

冬のイベントで、冷え切った体を温めてくれる食事は大きな楽しみの一つです。

会場となるかやぶきの里には、地元食材をふんだんに使った屋台が出店されていました。

地域の特長な食材として、「シカ」や「イノシシ」などのジビエ食材(狩猟によって、食材として捕獲された野生の鳥獣)を手軽に味



▲地元食材をふんだんに使っておもてなし

わうことのできるコロッケや豚汁なども出品されており、初めてジビエ料理を味わった方からも、「クセが無く、とても美味しい」と好評でした。

ハクサイ、ダイコン、ニンジンなど、冬が旬の野菜は、体を温めてくれる鍋料理や煮込み料理に最適で、会場でも冬野菜をたっぷり使った豚汁が人気でした。

旬の食材を味わう

栽培技術が進んでいるため、季節を問わず野菜を手に入れることができるようになりましたが、旬を意識することも減りましたが、同じ野菜でも旬の時期と、旬以外の時期では栄養価と味が大きく異なるものもあります。

それぞれの野菜にとって、最も生育条件が整い、最も成熟した時期が旬です。
味が良く、栄養価が高い旬の野菜を、普段の食事に上手に取り入れましょう。

問い合わせ先
南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)
TEL (0771) 68-0016

いきいき南丹

-90-

お元気ですか？
保健師です。



もっと体を動かそう！

+10分(プラステン)を始めよう

年末年始は生活習慣が乱れがちなことに加え、寒い季節柄、体を動かす機会が減ります。

春の足音が聞こえつつある今、体を活発に動かして、身も心も軽くなりませんか？

運動の効能

①基礎代謝量の増加



基礎代謝量とは、人間が生命活動を維持していく上で、最低限必要なエネルギー量です。一般的に、高齢になるに従って基礎代謝量は少なくなるため、若い頃と食事量が変化が無くても、消費エネルギーが減ることで、結果的に肥満を招きやすくなります。

運動を継続して行うことで、基礎代謝量が増加することが明らかになっていきます。

②心肺機能の向上



運動をすると体内の血液が循環して、心筋が活発に拡張と収縮を繰り返して、心肺機能がアップします。動脈硬化を予防し、高血圧や心筋梗塞、狭心症を予防するのに効果があります。

③糖尿病の予防



運動をすると筋肉に血液中のブドウ糖が取り込まれ、エネルギーとして消費されるため、血糖値が下がります。運動することによって、インスリンの効きも良くなります。

④免疫機能の向上



風邪などの感染症にかかりにくくなる、がんの発症リスクが低くなるといわれています。ただし、激しい運動は逆に免疫

力を弱めることになるため、注意が必要です。

⑤骨粗しょう症予防



骨は体を受ける圧力や刺激に応じて丈夫になります。適度な運動を続けることは、骨を丈夫にしてくれます。

⑥こころの健康



体を動かすことで、気分転換やストレス解消に繋がります。運動はうつ予防や認知症予防にも効果的です。

「+10分」のススメ

「運動が必要なのは分かっているけれど、時間がない」「運動は苦手だから」と、一歩を踏み出せずにおられる方も多いと思います。

日々の生活や仕事の中で、どこかに必ず体を動かす機会はあるはず。まずは、今より「10分多く(+10分)」体を動かすことを心掛けてみませんか。



+10分の取り組み事例

- 通勤やちょっとした外出は、徒歩や自転車にしてみましょう
- 歩幅を広く、速度も速く歩いてみましょう
- 犬の散歩は少し距離を伸ばしてみよう
- 駅や職場では、階段を使ってみよう
- テレビを見ながら、歯磨きしながら、普段の生活の中でできる「ながら筋トレ」を実践してみましょう
- 寝る前のストレッチで、心も体もリラクセスしましょう

ご自身の生活や行動を見直し、「10分多く(+10分)」を積み上げて、生活習慣病予防につなげましょう。

平成31年度 市民健診 受付中



生活習慣病の予防には、自分の体の状況を知ることが重要です。

申し込みがまだの方はお急ぎください。(休日検診を除く)

問い合わせ先 保健医療課
TEL(0771)68-0016

「言葉と心をつなげよう」



美

山小学校では、毎年6月と12月に人権旬間に取り組んでいます。6月には、「自分も友達も大切にしよう」をスローガンにして取り組みました。12月には、これまでの取り組みをさらに広げたいと考え、児童会から「言葉と心をつなげよう」というスローガンを提案しました。このスローガンには、自分の気持ちをしっかりと相手に伝えてお互いに気持ちを考え合うことや、気持ちの良いあいさつができるようにという願いが込められています。

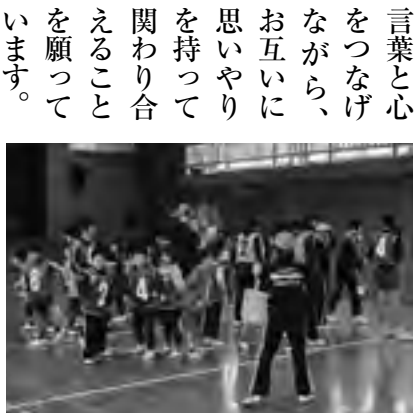
人

人権旬間のまとめ集会では、人権旬間の取り組みで気付いたことや学んだことを、今後につなげていこうと確認し合いました。また、児童会によるあいさつ運動は年間を通じて継続的に取り組まれています。「おはようございます」「さようなら」をはじめ、さまざまな大切なあいさつが気持ち良くできることを目指しています。毎日の下校時には、児童会から気持ちの良いあいさつができた人や班を紹介して、みんなが良いことを認め合っています。

こ

これらの取り組みを通して、自分の気持ちを言葉でしっかりと伝えることや相手の気持ちを大切にしています。これからも、言葉と心をつなげながら、お互いに思いやりを持って関わり合えることを願っています。

各 学年では具体的な目標を決め、言葉遣いに気を付けた言われてうれしい言葉について考えたりしました。「ありがとう」「大丈夫」「一緒に遊ぼう」「上手だね」「すごいね」など、たくさんうれしい言葉があることに気付きました。児童会の各委員会は取り組みを工夫し、心が温かくなる曲を選んで流したり、本を選んで紹介したりしました。そして、全校遊びを計画してみんなに呼びかけたりもしました。学年の枠を越えて楽しく交流しました。



▲全校遊びの様子

(美山小学校

人権教育主任

平井 祐子

ふ・れ・あ・い



—第35回—

ヘイトスピーチは

許されない

南丹市では「誰もがかけがえのない個人として尊厳さ

れ、お互いの個性や価値観の違いを認め合う相互理解と寛容の下で、生き生きと生活できる共生社会」の実現に向けてさまざまな人権教育・啓発に取り組んでいます。

しかし近年、日本では、特定の民族や国籍の人々などを誹謗中傷し、社会から排除しようとする差別的言動、いわゆるヘイトスピーチが社会的な問題となつています。このような言動は、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせたりするだけでなく、人々に不安や嫌悪感を与えることにつながります。

このような状況に対して、

ヘイトスピーチは許されないことを宣言し、一人一人がヘイトスピーチをなくすことの重要性について理解を深め、ヘイトスピーチのない社会の実現に貢献するよう求める「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）」が、平成28（2016）年6月に施行されました。

南丹市では、この法律の趣旨や責務を踏まえ、市の公の施設などでヘイトスピーチが行われることを防止するため「南丹市公の施設等におけるヘイトスピーチ防止のための使用手続に関するガイドライン」を3月1日に定め、使用制限の要件や手続などを示しています。

ヘイトスピーチは、極めて深刻な人権問題です。「ヘイトスピーチは許されない」と宣言したヘイトスピーチ解消法を実りあるものにするのが、私たち一人一人に求められています。

(人権政策課)



赤ちゃんにも絵本を

親子のふれあい「コミュニケーション」

赤ちゃんは、ストーリーが分からなくても、お父さんやお母さんの声を聞いて、絵を見て楽しんでいきます。「小さな子どもに絵本を読むのは早いか」と思われるかもしれませんが、ぜひ親子のふれあいを楽しみながら、絵本を読んでもあげてください。きつと優しい温もりが、豊かな心を育む手助けになるでしょう。読んであげる絵本に迷われたときには、職員に気軽に声をかけてください。

赤ちゃんから入園前の小さいお子さんまで、気兼ねなくご参加ください。



▲小さい子のおはなし会での工作一例

新刊紹介

『おせんべ やけたかな』

校正・文芸がよろこ
絵・降矢なな / 出版・童心社



わらべうたの「おせんべ やけたかな」が絵本になりました。

温かみのある絵が、わらべうたの魅力をより引き立てています。わらべうたの歌詞の、繰り返しのリズムが心地よい絵本です。

最後には、歌いながら赤ちゃんとする、ふれあい遊びの方法も紹介されています。

他にも『わらべうたでひろがるあかちゃん絵本』のシリーズとして、『ねーずみ ねーずみ どーこ いきや?』と『へっこ ぶっと たれた』がありますので、あわせてどうぞ。

暮らしと

ホッと

—第60回—
消費生活情報
「原野商法の二次被害」

雑木林を売却したはずが、別の新たな原野を買わされた

(独)国民生活センター
見守り新鮮情報
第306号より

事例) 宅地建物取引業の免許を持つ業者から、電話で何度も、昔両親が400万円で購入した雑木林の売却を持ちかけられた。断ったが「約5千万円で買い取る」と言われ根負けし、会って話を聞いた。「他の土地と一緒に購入すれば節税になる」「購入費用は後で返す」などと説明され、よく分からなかったが、買い手のつかない土地が売れるならと思い、約400万円支払って契約書にサインした。しかし、いつまでも購入費用は返金されず、業者は電話に出ない。契約書を確認すると、雑木林を1200万円で売り、原野を1600万円で購入する契約となっていた。(60歳代女性)



ひとこと助言

●過去に原野商法(値上りの見込みがほとんどないような原野や山林などの土地を、将来値上がりするかのようについでに偽って販売する手口)の被害に遭った人や、それらの土地を相続した人に、「土地を高く買い取る」と持ち掛け、言葉巧みに売却額より高い値段の新たな土地も一緒に購入させる二次被害の相談がみられます。

●「土地を買い取る」「お金は後で返す」などと言われても、きつぱりと断り、絶対にお金を支払わないようにしましょう。

●宅地建物取引業の免許があっても、悪質な勧誘を行う業者もいるので、注意が必要です。

●一度お金を支払ってしまうと、取り戻すのは困難です。困ったときや不審な点を感じたら、左記窓口にお気軽にご相談ください。

消費者ホットライン
TEL 188

南丹市消費生活相談窓口
TEL (0771) 68-0100
月曜・火曜・金曜(祝日は休み)
午前9時〜午後4時

(商工観光課)

南丹市身体者障害者福祉会八木支部
新年会 活動の様子(1/17)



来賓者あいさつをフィルムに書き出し、準備します



スクリーンの映り具合を調整します



話者のスピードに合わせてスクリーンに表示させていきます

メンバー・活動依頼を
募集しています

「要約筆記サークル大堰」では、一緒に活動いただける方を募集しています。毎月第2水曜日、南丹市社会福祉協議会八木事務所で例会や練習をしています。

また、依頼があれば地域のサロンなどの集まりにも出向かいますので、お気軽にお問合せください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会八木事務所
TEL：(0771)42-5480



難聴者へ情報を届ける

～要約筆記サークル 大堰～

「要約筆記サークル大堰」は平成11年に結成され、八木町の象徴である大堰川から命名されました。現在は60～70代の女性6人で活動されています。要約筆記とは、耳の不自由な方々に向けて文字で情報を伝えるコミュニケーション手段で、講演会などでの話を書き出したものを会場のスクリーンに投影したり、会場や設備環境などによつては、耳の不自由な方の隣で筆記するノートテイクなどがあります。

活動では、講演会などの主催者から仕事として依頼されたり、ボランティアとして八木町難聴者の会の行事に協力されるほか、京都府難聴者協会の行事など、幅広い活動をされています。

活動をされています。サークルに入会されたきっかけ



▲八木町難聴者の会での活動(2/5)

を伺うと「自分のできる範囲で耳の不自由な方の手助けをしたい」、「音訳や要約筆記ボランティアの方の輝いた姿を見て、やりがいのある活動をしたかった」とお

話いただきました。また、「活動終了後には『ありがとう』『良く分かった』と声を掛けていただいたりすると元気が出ます」とやりがいを語られました。「落語などを要約筆記することがあり、文字だけで場の空気や面白さを伝えることは難しい」と苦労をされながらも、「講演会などでは、要約筆記がないと来られない方もいらつしゃいます。私たちの活動がもっと認知され、情報に壁のない社会を広げていきたい」と情報保障の大切さと今後の展望を話されました。

12月8日、平成30年度南丹市人権フォーラムを国際交流会館で開催し、声楽家の青野浩美さんを講師に招きました。青野さんは声楽家を目指していた矢先、原因不明の難病を発症されました。人工呼吸器が必要と言われ、やむなく気管切開の手術をし、医師からは歌えないと告げられます。青野さんは「前例がないからとあきらめるのは残念。私が前例を作ろう」と挑戦され、現在の活動につなげておられます。

講演の合間にはコンサートが行われ、青野さんのオリジナル曲や『野ばら』などを熱唱。来場者は美しい歌声に聞き入りながら、夢をあきらめない青野さんの話に耳を傾けていました。



▲歌声を披露する青野さん

「先駆者から学ぶ大切な人権の意識」

(12/8) 平成30年度南丹市人権フォーラム



▲かやぶきの里「雪灯廊」の抽選会場に並ぶ参加者

2月2日、スマートフォンのアプリを使って市内の観光地を周遊しながら謎解きを行い、正解してスタンプを集める「南丹市スタンプラリー謎解きゲーム in なんとん」を開催しました。内藤ジョアン顕彰碑前や日吉ダムインフォギャラリー、かやぶきの里で開催中の「雪灯廊」エリアに3カ所、計5カ所に謎解きスポットが用意され、3つ以上のスタンプを獲得した方が市の特産品が当たる抽選会に参加できる1日限定のイベントです。

今回は府内外から200人の参加があり、謎解きスポットや抽選会場では賑わいを見せていました。



▲内藤ジョアン顕彰碑前で謎を解く参加者 (八木町)

「市内観光スポットで謎解きゲーム」

(2/2) 南丹市スタンプラリー謎解きゲーム in なんとん PART 3

「新年に思いを込め 丁寧な筆を走らす」

(1/12) 第27回新春席書大会



◀真剣な表情で席書に取り組む親子ら

1月12日、第27回新春席書大会が園部公民館で開催され、市内の親子ら約30人が参加しました。新年を迎えて、伝統文化を知ってもらおうと、園部町文化協会が毎年開かれています。

小学1年生～中学生までの各学年に「えび」や「雪げしき」などの課題が出され、子どもたちは真剣な表情で半紙に向けて筆を動かしていました。また、付き添いの保護者も子どもの横で挑戦する姿があり、和やかな雰囲気の中、新年の思いを込めて書きあげていました。



▲集中して削る参加者(こどもの部)

2月10日、小刀でえんぴつを制限時間内に美しく削る「第8回全国えんぴつけずり大会」が国際交流会館で開催されました。大会は、大人の部と子どもの部合わせて36人、東は千葉県、西は山口県と遠方からの参加もありました。

両部とも予選と決勝があり、参加者は真剣な眼差しでえんぴつを削り、予選を勝ち残った6人が決勝で競い合いました。審査員長の渡辺さんは「甲乙付け難く、こんなに審査が難しかった年はありませんでした」と参加者に称賛の言葉を贈りました。

(2/9) 第8回全国えんぴつけずり大会

「ものづくりの楽しさを学び親しむ」

「学生が地域で活動するためには」

(2/9) 学生のまち南丹 地域連携フォーラム

2月9日、日吉町生涯学習センターで、学生のまち南丹 地域連携フォーラムが開催され、学生や地域の方など約30人が参加しました。

フォーラムでは、学生たちが地域の中で行っている活動を発表したほか、課題や今後の活動について議論を深めました。またワークショップでは、学生が地域で活動する際の課題について5つのグループに分かれ意見を出し合い、課題解決策などを取りまとめて発表し、全体で共有しました。



▲地域の中で行っている活動を発表する学生ら

「収穫祭で感謝の気持ちを伝える」

(12/13) 米作り学習「収穫祭」丹波支援学校中学部

▲地域の方と食事する様子



▲感謝の気持ちを伝える生徒



京都府立丹波支援学校中学部では、地域との共生を目指した「地域とつながる」授業づくりの一環として、平成29年度から地域の休耕田の活用と地域の活性化に向けて、米作り学習「米米くらぶ」に取り組まれています。

12月13日には収穫祭を開催され、米作りでお世話になった地域の方を招き、収穫したお米でおにぎりなどを作り、共に味わいました。また、生徒一人一人の感謝の言葉が詰まった感謝状を渡されると、地域の方たちは喜ばれている様子でした。

「住みよいまちを目指して会員交流」

(1/17) 南丹市身体障害者協会八木支部 新年会

1月17日、南丹市身体障害者福祉会八木支部の新年会が市役所八木支所文化ホールで開催され、会員ら約20人の参加がありました。

開会に際して昨年に続いた豪雨災害での経験やJR八木駅舎のバリアフリー化への取り組みなどの近況の話題に触れながら、障がいのある人もない人も住み慣れたまちで暮らしていけるよう取り組みを進めていきたいと、主催者や来賓者からのあいさつがありました。その後、踊りやマジックショーなどが催され、会員同士で交流を深められました。



▲舞台上で披露される踊り

なんたんミュージアム

-72-

南丹市立園部小学校

「お話の絵 『んひらがな大へんしん』」
 「光」

※担任の先生、担当教科の先生の
 の講評を掲載しています。



▲平仮名“ん”が変身してみんなで運動会をするお話を読み、想像したことを楽しく伸び伸びと描いています。

「やぶいたかたちからうまれたよ」

『でっかいきょうりゆう』
 星野 明日海さん（1年）



▶破いた紙の形から思い付いたことを、紙を貼ったり描き加えたりして、工夫して絵に表しました。



村上 璃奈さん（3年）

▶「点」「曲がり」の筆遣いに気を付けて、一画一画丁寧に書けています。

「12年後のぼく」

岡本 珠生さん（6年）



▲将来の自分の姿を思い浮かべながら心を込めて制作できました。今にも動き出しそうな姿勢を見事に表現しています。

編集後記

春が近づいてきました。皆さん春は好きですか。カメラを使うようになってから早3年。きれいに咲いている花や植物を見ると、構図を考えて撮影している自分がいます。(N・K)

（お詫言と訂正）

広報なんたん12・1月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫言として訂正いたします。
 ◇4ページ「丹波平定」年表（誤）丹波篠山市（正）篠山市
 ※5月1日をもって「丹波篠山市」に名称変更されます。
 ◇24ページ「ニュースダイジェスト」8月14日 第72回京都府南丹市花火大会を重複して記載していました。



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市** なんたんし



●総人口：31,913人(-68)
 (男：15,398人・女：16,515人)
 (-38) (-30)
 ●世帯数：14,163世帯(-28)
 (平成31年2月1日現在)
 ()内は前月比



わが家のアイドル

●園部町
 今井

莉衣良ちゃん(5歳・上)
 瑠衣菜ちゃん(1カ月・下)

「やっと会えた待望の可愛い妹！
 お姉ちゃん頑張ってね(^^)♥」(父・母より)

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは情報政策課秘書広報係まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 企画政策部情報政策課
 〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
 URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
 e-mail:joho@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。